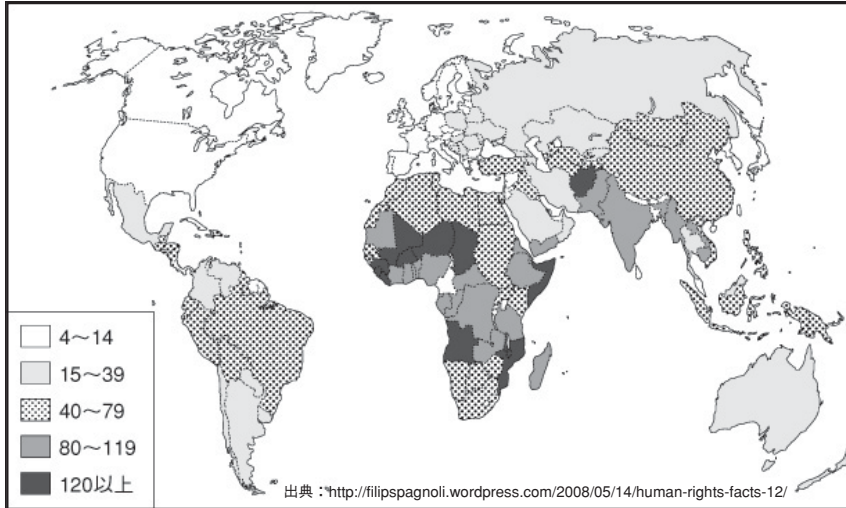


➡ 6年生 | 「わたしたちの暮らしと日本国憲法」

社会

平和憲法について考える 授業プラン

人口千人あたりの乳幼児死亡数 (人)



・地図帳を使って、地図中の濃い色の国名を探させる

シエラレオネ、アンゴラ、ソマリア、アフガニスタン、カンボジアなど。

・これらの国に共通することは何か予想する

ほとんどの国が、国内で戦争をしていることをおさえる。(※内戦を教える)

・乳幼児の死亡率が世界一低い日本、ノルウェー、スウェーデンに

共通することは何か予想する

第2次世界大戦以後、一度も戦争をしていない国であると説明する。

・日本が64年間も戦争をしなかったのはなぜかを考える

いろいろな理由があるが、大きな要因は、憲法で戦争をしないと明言しているからだと説明する。

・憲法第9条を読む

・授業の感想を書かせる

<ワンポイント>

乳幼児死亡率の高さの要因には、貧困による栄養不足、医師不足などさまざまなものがある。しかし、根底となる大きな問題は、内戦によって国内情勢が不安定なことにつくる。

子どもには、戦争のない平和の素晴らしさを同時に感じてほしい。同時に、「日本は平和でよかった」という感想で終わるのではなく、自分たちが平和のために何ができるのかを考えさせたい。

自衛隊に関する議論はあるが、私は憲法第9条は世界に誇るべき日本の財産だと考えている。教師として、この憲法をどう教えるかについても議論はあると思うが、この世界に類のない平和憲法について学ぶために、次のような授業プランを立ててみた。

・導入 上の世界地図を見せる。もしくはプリントで配布する。できればカラーで、プロジェクターで大きく投影したい。

・地図が何を表しているか予想する

地図は、人口1000人あたり、5才までに命を落としてしまう人数を示している。

・乳幼児の死亡率が世界一低い国と高い国を探す

地図から予想させる。日常的に地図帳を使っているとすぐ活用する子が増える。

・教師から解を示す

世界一低い国 (1000人中3人) 日本、韓国、シンガポール、ノルウェー、スウェーデン

世界一高い国 (1000人中160人) シエラレオネ
シエラレオネの位置を確認する。

出典: 2007年版世界人口白書
http://www.unfpa.or.jp/publications/swop/swopPast/2007_all.pdf

<参考になるウェブサイト>100円でできるNGO活動
<http://www.ngo-arena.org/100yen/100yen.html>